

## No.55 交通安全教室の実施と「校区危険箇所マップ」の作成の取組

- 管内 石狩管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 交通安全教室の実施
- 生徒会が中心となって作成した「交通安全宣言」の実施
- PTA、小学校と連携した「校区危険箇所マップ」の作成

### 取組の実際

#### ねらい

- 身の回りに起こりうる交通事故や校区内の危険箇所を生徒自身に認識させることにより、交通安全意識の高揚を図る。

#### 内容

### 1 交通安全教室の実施と生徒会による「交通安全宣言」の作成

- 安全な自転車通学を考える交通安全教室の実施
  - ・危険を予測する力を高めるため、夕暮れ時に、自動車の運転手から自転車がどのように見えるのかを映像で確認するとともに、映像を視聴しながら身の回りで起こりうる危険について発表し合った。
  - ・道路交通法等について学び、自転車による事故においても賠償責任があることなどについて学習した。
- 生徒会による「交通安全宣言」の作成
  - ・生徒会が中心となり、「交通安全宣言」を作成し、交通安全教室実施後に全校生徒に宣言して意識啓発を図った。



【生徒会長による交通安全宣言】

**【交通安全宣言】**

私たち、〇〇中学校の生徒は、交通事故により多くの尊い命が失われている現状を正しく認識します。交通事故をなくすためには、一人一人が社会的責任を十分に自覚し、人命尊重の精神を重視して行動することが大切です。私たちは、正しい交通ルールとマナーを守り、積極的に交通事故防止に貢献することをここに誓います。

### 2 保護者や小学校と連携した「校区危険箇所マップ」の作成

- 校区内の危険箇所の確認
  - ・教員が保護者や小学校と連携して、通学路の再点検を行い、校区内の危険箇所について確認した。
  - ・確認した危険箇所を踏まえて、「校区内危険箇所マップ」を作成した。
- 学級活動における通学時の注意事項の確認
  - ・「校区危険箇所マップ」を活用し、校区の危険箇所の確認を行い、通学時に注意する点などについて話し合わせた。
- 家庭と連携した安全指導の周知徹底
  - ・「校区危険箇所マップ」を保護者に配布し、家庭においても通学時の行動について確認するよう依頼した。



【校区危険箇所マップ】

#### 成果と課題

- 生徒会が中心となり、「交通安全宣言」を作成し全校生徒に宣言したことにより、生徒一人一人の交通安全に対する意識が高まった。
- PTA、小学校の教員と連携して、きめ細かに危険箇所を確認して「校区危険箇所マップ」を作成したことにより、安全確保に関する詳細な情報を掲載することができた。
- 「校区危険箇所マップ」を学校のWebページに掲載し、広く周知するとともに、地域住民と連携した通学時の安全指導の取組を進める必要がある。